

令和元年度 実践目標及び報告

たんぽぽ

法人の 基本方針	項目	実践目標（P）	実践（D）	評価（C）	改善（A）分析課題の設定
サービスの質の向上	保育内容	一人一人の成長や発達に合わせて丁寧に関わり、心身や情緒の安定を図る	- 一人一人に合わせた、丁寧な関わり - 体験保育、（月1回）小規模保育園六甲道との交流を活発化 - 引き継ぎ書の作成	- その時々成長、発達、心情に合わせて、職員間で情報共有をしながら、保育に努めた為、一人一人がのびのびと自分を出して過ごせていた為、良かった。 - 感染症の流行等で交流を控えていたこともあり、小規模保育園六甲道との交流が十分出来なかった。 - 卒園する子どもの引き継ぎ書を新しく入園する園へ送付することで、スムーズに活動できるように配慮した。	- 家庭に近い環境での保育が実現出来ることを強みに、今後も丁寧な関わりを継続していく。 - 月の活動を計画する際に、週2回一緒に活動する時間を予め設け、計画的に交流を深められるようにする。 - 配慮事項を記載することで、次の入園先でもスムーズに移行出来るよう丁寧な配慮を続けていく。
	保育環境	- おうちのように安心でき、くつろいで楽しく過ごせる環境作り - 安全な保育環境作り	- 異年齢児保育の下、どの年齢も楽しめるコーナー作り - ヒヤリハット、災害冊子を下に危機意識の向上 - 施設安全チェックの活用	- 様々な玩具を普段から手の届く場所に出しておくことで、次第にルールが分かり、使いたい時に正しく出して使えるようになった。 - 災害冊子等を下に話をする事で、子どもの突発的な行動を全職員が把握することが出来、危機意識の向上から、保育環境を工夫することに繋がった。 - 感染症が流行した際に、出して良い玩具と、控えた方が良い玩具の配慮が不十分であった。	- 危険だからなくすではなく、あることが当たり前の環境の下、あそびの中で使い方を理解していけるように配慮をしていく。 - 災害冊子等を用いての会議を継続し、危機意識の向上から、安全な保育環境を整えられるようにする。 - あそびの中で口に触れる可能性が高い玩具は一時的に直す等、興味関心だけでなく、健康面も配慮した環境を整えられるようにする
利用者支援	保護者支援	保護者に寄り添い、共に子どもの成長を喜び合う関係作り	- 毎日の送迎時の保護者との対話の必須 - 保護者参加行事の実施（年8回） - アンケートの実施（行事等）	- 毎日の様子を必ず伝えることで保護者からも園での様子がよく分かるという声が上がった。 - 保育参加等、日程調整が可能な行事は、保護者の仕事の都合に合わせて参加して頂いた為、好評であった。 - 意見を書いて頂けるような問を増やした為、様々な意見を徴収できた。	- 朝夕に保護者対応する職員が日中の子どもの様子を細やかに伝えられるのは小規模保育園の良さである為、引き続き、丁寧な対応を徹底する。 - 少人数である為、柔軟に対応しながら、保護者のニーズに合わせた行事の実施をしていく - アンケート結果を活かして、行事や保育の計画の見直し出来るようにする。

法人の 基本方針	項目	実践目標（P）	実践（D）	評価（C）	改善（A）分析課題の設定
利用者支援	保護者支援	保護者に寄り添い、共に子どもの成長を喜び合う関係作り	3歳児以降の卒園に向けて適切な支援や説明責任を果たす	その都度相談に応じ、連携枠も有効に活用出来た。今年度は、保育施設が多数開園したことに伴い、殆どの子どもが希望通りの施設に入園出来た。	引き続き3歳児以降の受け皿が少なく、入園が困難であることを知って頂き、適切な説明をし、支援していく。
地域との共生	地域との連携	地域と協力し、開かれた園を目指す	- 自治会の加入 - 地域の方を対象に体験保育「小規模保育園へようこそ」を実施(年6回) - 地域清掃の計画的実施(月2回)	- ハロウィン等、地域の方と一緒に行事を実施することが出来、年々関わりが深まっている。 - 案内を掲示する場所を増やした為、前年度より参加家庭数が増えた。参加した家庭から新規入園に繋がった例もあり、小規模保育園の様子が分かって良かった等の声も上がった。 - 地域清掃を通して、地域との関わりも深まり、園が休みの時に地域の方が、園前の花壇に水をやって下さったりと良い関係性が構築できてきた。	- 行事に参加して頂いたり、子どもたちとの交流を通して、継続した信頼関係を築いていけるようにする - 次年度は月1回の実施にし、地域の子育て家庭の育児相談や、ほっとできる居場所として地域に貢献出来るようにしていく。 - 地域清掃と同時に新たに公園安全チェックを月1回実施し、園の子どもと同時に地域の子どもたちの安全を守れるようにする。
人材育成	職員の質の向上	- 業務内容の見直し - 園内研修、園外研修の活発化	業務内容の見直し、役割の明確化	職員間の役割を見直し、一人一人の得意分野を活かした役割表を作成した為、前年度よりやりがいを持ち、進んで職務にあたる姿が見られた。	業務の偏りが、不満に繋がる為、その時々職員に合わせた役割を明確にし、やりがいを感じることで、意欲や質の向上に繋がられるようにする。
			- 園内研修を実施、外部研修の積極的な参加 - 小規模保育園合同の研修を実施	- 外部に出た職員が知識を園内研修にて施設内共有することで、最新の情報を職員間で周知出来る良いきっかけとなった。 - 身近な素材を使った室内あそびをテーマに実施した。研修を下に取り入れたあそびを、運動あそび会にも取り入れ、保護者の方にも見て頂けたので良かった。	- 外部研修等の参加を計画し、学んできた内容を園に還元することで、同時に園内研修の充実化も図れるようにする。 - 次年度も合同研修を実施し、両園のレベルアップを図る。